

Leptin, PAI-1 と逆の変化をしたが正常範囲内であった。3；秋の体重増加時に高インスリン血症, 耐糖能異常, 高血圧が認められ, インスリン抵抗性との関連でも興味深い。4；脳 MRI では, 乳頭体萎縮を認め, 今後, 食欲調節中枢との関連からも検討する必要がある。

II. 特 別 講 演

「GH, IGF の最近の知見」

東京女子医科大学第2内科
肥 塚 直 美

第 1 回新潟性感染症 (STD) 研究会

日 時：平成11年9月10日(金)
午後6時30分～8時
場 所：ホテルイタリア軒

I. 一 般 演 題

1 不育症におけるクラミジア抗体価の検討

安達 博・石井 桂介
東野 昌彦・高桑 好一 (新潟大学)
田中 憲一 (産婦人科)

2 長岡赤十字病院における尿道炎患者の変遷について

森下 英夫・小池 宏 (長岡赤十字病院)
有本 直樹 (泌尿器科)

3 HIV 感染症の現状について

五十嵐謙一・西堀 武明 (新潟大学)
塚田 弘樹・下条 文武 (第二内科)

II. 特 別 講 演

「性あるところに感染あり」

一本邦における性感染症流行の現状と問題点一

札幌医科大学
熊 本 悦 明

第 2 回新潟性感染症 (STD) 研究会

日 時：平成12年9月22日(金)
午後6時30分～8時
場 所：ホテルイタリア軒

I. 一 般 演 題

1 II 期梅毒の1例

佐藤 信輔 (新潟市民病院)
皮膚科
伊藤 明子 (新潟大学)
皮膚科

2 本邦の大都市部における妊婦性行為感染症の蔓延に関する多施設共同研究

高桑 好一・石井 桂介 (新潟大学)
田中 憲一 (産婦人科)
平成11年度厚生省班研究「妊産婦のSTD及びHIV陽性率とHIV母子感染に関する研究」グループ

II. 特 別 講 演

「最近のSTDの動向ークラミジア感染症を中心にー」

財団法人 性の健康医学財団
松 田 静 治